

<東京・神奈川>	東京支店	〒103-0004	東京都中央区東日本橋2-23-3	TEL:03-5835-0981
<千葉>	千葉営業所	〒260-8666	千葉県千葉市中央区市場町3-1	TEL:043-221-7000
	本社営業所	〒289-1732	千葉県山武郡横芝光町横芝1092	TEL:0479-82-1121
	東葛営業所	〒277-0841	千葉県柏市あけぼの4-2-21	TEL:04-7143-6851
	木更津営業所	〒292-0805	千葉県木更津市大和3-4-25	TEL:0438-25-4661
<茨城>	水戸営業所	〒310-0803	茨城県水戸市城南2-15-16	TEL:029-224-1731
	つくば営業所	〒305-0034	茨城県つくば市小野崎131-1	TEL:029-855-6611
	茨城営業所	〒300-0736	茨城県稲敷市八千石720	TEL:0299-79-1211
<埼玉>	埼玉営業所	〒343-0023	埼玉県越谷市東越谷3-1-1	TEL:048-969-7501
<栃木>	栃木営業所	〒322-0301	栃木県鹿沼市北半田2008	TEL:0289-75-4641
<群馬>	群馬営業所	〒371-0831	群馬県前橋市小相木町520-1	TEL:027-254-3651
<長野>	長野営業所	〒385-0022	長野県佐久市塚原900	TEL:0267-68-5010
<東北>	東北営業所	〒984-0816	宮城県仙台市若葉区河原町2-5-36	TEL:022-266-7651
<中部・関西>	中部支社	〒470-0451	愛知県豊田市藤岡飯野町五釜1168-1	TEL:0565-76-4121
	名古屋営業所	〒453-0851	愛知県名古屋市中村区畑江通9-38-1	TEL:052-481-3651
<技術>	技術部	〒260-8666	千葉県千葉市中央区市場町3-1	TEL:043-221-3471
<工場>	本社工場	〒289-1732	千葉県山武郡横芝光町横芝1092	TEL:0479-82-1121
	本社第2工場	〒289-1732	千葉県山武郡横芝光町横芝995	TEL:0479-82-8881
	茨城工場	〒300-0736	茨城県稲敷市八千石720	TEL:0299-79-1211
	東関東工場	〒300-0511	茨城県稲敷市高田3657	TEL:029-892-2591
	栃木工場	〒322-0301	栃木県鹿沼市北半田2008	TEL:0289-75-4641
	PS工場	〒289-1741	千葉県山武郡横芝光町中台650	TEL:0479-82-7777
	愛知工場	〒470-0451	愛知県豊田市藤岡飯野町五釜1168-1	TEL:0565-76-4121

## ネットワーク

<東北>	<b>池田東北株式会社</b>			
	本社・福島事業部	〒969-0401	福島県岩瀬郡鏡石町境180	TEL:0248-62-5155
	仙台事業部	〒981-3521	宮城県黒川郡大郷町中村大沢1	TEL:022-359-2511
	福島工場	〒969-0401	福島県岩瀬郡鏡石町境180	TEL:0248-62-5155
	仙台工場	〒981-3521	宮城県黒川郡大郷町中村大沢1	TEL:022-359-2511
<中国・四国・九州>	<b>東洋ヒューム管株式会社</b>			
	本社・山口営業所	〒754-1193	山口県山口市秋穂東3502	TEL:083-984-2021
	萩営業所	〒758-0011	山口県萩市大字椿東2531-1	TEL:0838-24-2221
	下関営業所	〒751-0875	山口県下関市秋根本町2-10-10-406	TEL:083-249-5351
	岩国営業所	〒740-0036	山口県岩国市藤生町4-60-9	TEL:0827-34-0511
	三原営業所	〒729-1211	広島県三原市大和町大草20932	TEL:0847-33-1155
	広島営業所	〒732-0053	広島県広島市東区若草町10-12	TEL:082-261-1301
	福山営業所	〒720-0041	広島県福山市寺町6-3	TEL:084-928-9751
	山口工場	〒754-1193	山口県山口市秋穂東3502	TEL:083-984-2021
	広島工場	〒729-1211	広島県三原市大和町大草20932	TEL:0847-33-1155

# CLP-VII

## 大地震対応型L型擁壁

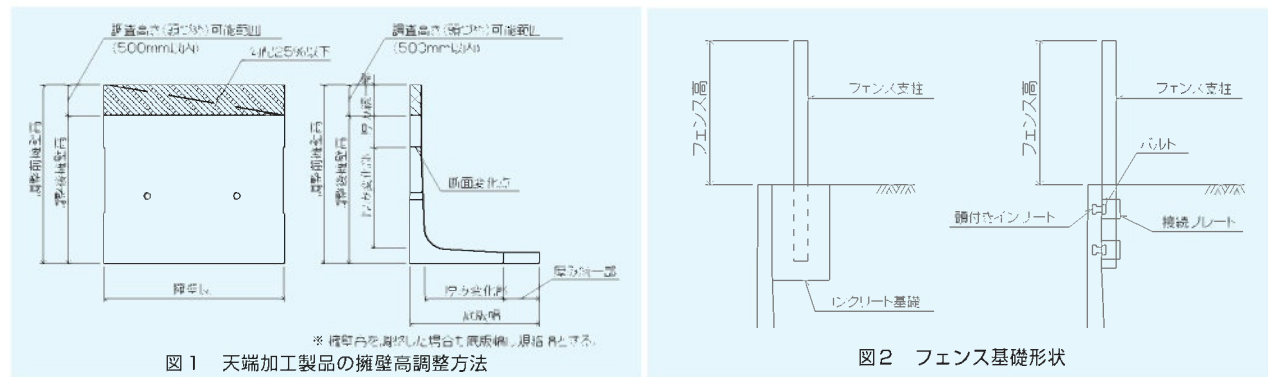
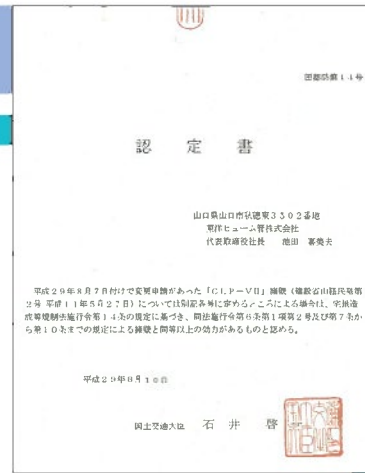




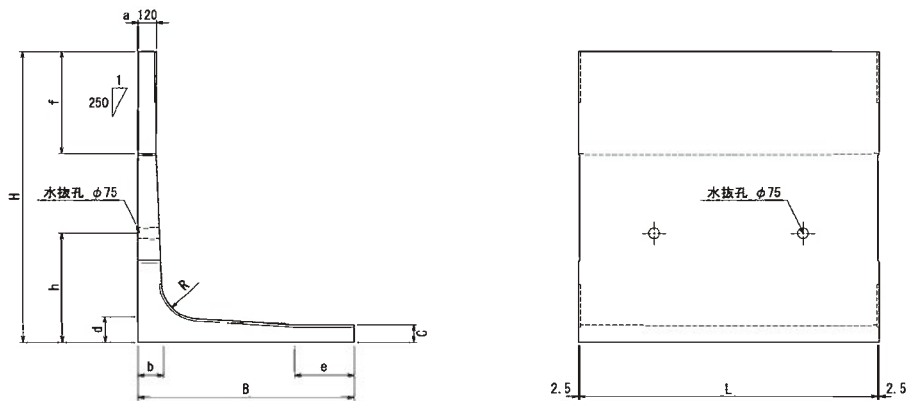
# CLP-VII(大地震対応型)は、大地震(水平震度Kh=0.25)に対応した宅地用L型擁壁です。

## A:特徴

- 国土交通大臣認定(宅地造成等規制法施行令第14条)を取得しているので、認定条件内であれば、計画から認可までの手続きも簡素化できます。
- 設計水平震度は、Kh=0.25(大地震)に対応しております。
- 擁壁天端の加工も可能です。(図1天端加工製品の擁壁高調整方法参照)
- 前面に表面模様(デザイン)を施すことができます。(厚さ50mmまで)
- 擁壁長さはL=1.0mまで短くすることができます。
- 認定条件の範囲内であれば、たて壁背面側にフェンスを取付けることができます。(図2参照)



## B:形状寸法



	寸法表 (mm)											製品質量 (kg)
	H	B	L	a	b	c	d	e	f	h	R	
H1000	1000	750	2000	4	130	110	130	250	500	600	150	960
H1250	1250	900	2000	5	130		250	1200				
H1500	1500	1050	2000	6	145	120	145	250	700	750	200	1510
H1750	1750	1250	2000	7	155		350	1850				
H2000	2000	1450	2000	8	170	120	170	400	900	800	250	2240
H2250	2250	1650	2000	9	190		500	2660				
H2500	2500	1800	2000	10	215	120	215	550	1000	900	300	3100
H2750	2750	2050	2000	11	240		650	3690				
H3000	3000	2150	2000	12	270	120	270	600	1100	1000	400	4290

## C:設計条件

載荷重	q=10(kN/m <sup>2</sup> )
設計水平震度	Kh=0.25
摩擦係数	$\mu = \tan \phi (\leq 0.6)$
フェンス荷重	Hh=1.0(kN/m)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c = 24.0(kN/m^3)$
コンクリートの設計基準強度	$F_c = 30(N/mm^2)$

背面土及び基礎地盤  
 (1)土質試験により実況を確認する場合  

内部摩擦角	$\phi = 25^\circ$
単位体積重量	16~19
摩擦係数	$\tan \phi (\leq 0.6)$

 (2)土質試験により実況を確認しない場合  
 宅地造成等規制法施行令の別表第2、第3のうち下表による。

土質	根入れ深さ
基礎地盤の内部摩擦角が30度未満の場合	450mm以上かつ擁壁高さ(※)の20/100以上

(※)擁壁高さは、地盤面より上の地上高さをいう  
 (注)製造に関しては、「製造仕様書」、築造に関しては「築造仕様書」によること。

別表第2

土質	単位体積重量(kN/m <sup>3</sup> )	土圧係数
砂利又は砂	18	0.35

別表第3

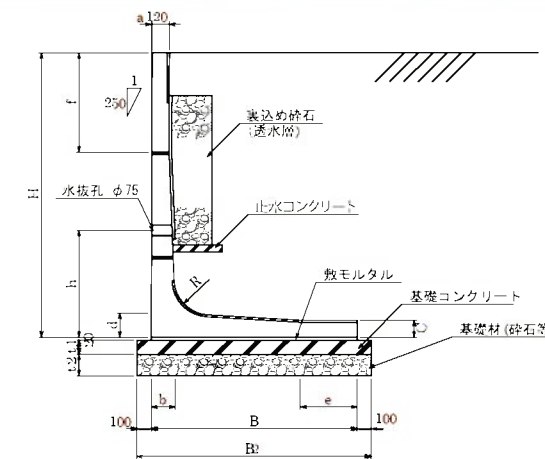
土質	土圧係数
岩、岩屑、砂利又は砂	0.35

## D:基礎地盤の許容応力度(必要地耐力)

(1) 直線部 (kN/m<sup>2</sup>)

荷重条件	デザイン有無	擁壁高さ (m)								
		1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25	2.50	2.75	3.00
常時	無	65	79	93	101	109	118	131	137	154
	有	75	90	104	111	119	128	141	146	163
フェンス荷重	無	107	106	114	115	120	127	139	143	159
	有	126	122	128	127	131	137	149	152	169
地震時	無	103	125	147	155	165	175	194	197	222
	有	118	142	165	171	179	188	207	209	235

## E:標準施工例



	寸法表 *単位は<mm>											材料表 (10m当り)							
	H	B	L	a	b	c	d	e	f	h	R	t1 (m)	t2 (m)	B2 (m)	使用枚数 (枚)	基礎コンクリート (m)	基礎砕石 (m)	敷きモルタル (m)	基礎型枠 (m)
H1000	1000	750	2000	4	130	110	130	250	500	600	150	0.05	0.20	0.95	5.00	0.475	9.500	0.150	1.000
H1250	1250	900	2000	5	130		250	1.10											
H1500	1500	1050	2000	6	145	120	145	250	700	750	200	0.10	0.25	1.25	5.00	0.625	12.500	0.210	1.000
H1750	1750	1250	2000	7	155		350	1.45											
H2000	2000	1450	2000	8	170	120	170	400	900	900	250	0.10	0.25	1.65	5.00	1.650	16.500	0.290	2.000
H2250	2250	1650	2000	9	190		500	1.85											
H2500	2500	1800	2000	10	215	120	215	550	1000	1000	300	0.10	0.25	2.00	5.00	2.000	20.000	0.360	2.000
H2750	2750	2050	2000	11	240		650	2.25											
H3000	3000	2150	2000	12	270	120	270	600	1100	1100	400	0.10	0.25	2.35	5.00	2.350	23.500	0.430	2.000

※透水層として、砂利等の代わりに透水マットも使用できます。その場合は、「擁壁用透水マット技術マニュアル(平成9年6月)建設省建設経済局民間宅地指導室監修(社)全国宅地擁壁技術協会」に準拠したものを使用下さい。